

整理番号	47-14	事務事業名	(体育施設管理事業) 地区体育館管理事業		作成部署	生涯学習部体育課	電話	内線890
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	山内平一郎	課長職名	松尾定治	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	S57	根拠法令等	北広島市体育施設条例					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	各地区にスポーツレクリエーションの活動の場を提供するため、昭和57年2月に輪厚、昭和59年2月に大曲、昭和60年2月に西の里へ、それぞれ地区体育館を開設し、管理を開始した。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化をはぐくむまち	(第4章)
	節	スポーツ・レクリエーション	(第5節)
	施策	個性的事業の推進	(第3施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	市民・地区体育施設。	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	各地区体育館を常に良好な状態に保ち、安全で楽しいスポーツ・レクリエーションの場を提供する。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	地区体育館の維持・管理業務を行った。管理業務は各地区会館と合わせて運営委員会に委託した。 平成16年度の各地区体育館の維持費 輪厚児童体育館 1,592千円 大曲ファミリー体育館 1,865千円 西の里ファミリー体育館 2,484千円
		17年度	同上 平成17年度の各地区体育館の維持費 輪厚児童体育館 1,300千円 大曲ファミリー体育館 1,600千円 西の里ファミリー体育館 2,100千円

2 実施(ドゥ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	5,062	5,941	5,000	5,000
	合計	5,062	5,941	5,000	5,000
人件費(概算)	人数(年間)	0.02	0.03	0.03	0.03
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	180	270	270	270
総事業費 +		5,242	6,211	5,270	5,270

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	開放日数	309日	309日	309日	309日
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	利用者数	76,232人	68,231人	80,000人	80,000人
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	利用者1人当りコスト	67円	87円	63円	63円
	(総事業費 / 利用者数)				
	開放日1日あたりコスト	16,673円	19,226円	16,181円	16,181円
	(総事業費 / 開放日数)				

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	幅広い世代にわたってスポーツやレクリエーションへの関心が高まる中、身近な屋内スポーツ施設である地区体育館への需要が高まっている。
---------------------------------	--

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	設置者である市が管理することは、妥当である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	住民にスポーツ・レクリエーションの場として地区体育館を開放することは妥当と考える。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	現在は地元運営委員会に委託しており妥当と考えるが、指定管理者制度を視野に入れ検討する余地がある。	指定管理者制度の導入について検討
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	現在無料となっているが、光熱水費の一部負担を検討する。	当面は、団体の専用使用を有料化として検討

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	市民や、スポーツ団体等にスポーツ・レクリエーションの活動の場が提供出来ているので成果が上がっている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	施設管理を委託し、徹底したコスト削減を図っており、十分効率的と考える。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	指定管理者制度導入に合わせ、有料化について検討する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり